

# 1 伊豆沼・内沼 世界に発信！生物多様性保全・研究の先進地



夏に満開を迎えるハスの花



回復した在来魚の観察

みんなで見守る  
「スワンププロジェクト」を実施

ハクチョウの今



外来種の駆除による在来魚の回復や、動植物の  
生息環境となる「エコトーン<sup>®</sup>」の復元など、  
自然再生に向けた取り組みが進められています。

※多様な植物や生物が生息する陸域と水域の境界



オオハクチョウから撮影された  
群れの飛行の様子

# 2 蕪栗沼・周辺水田 人の営みと生き物たちの共生

蕪栗沼に隣接する水田では、冬の田んぼに水を張る「ふゆみずたんぼ」  
の取り組みが行われ、10万羽を超えるマガンが飛来します。



水田は、ガンカモ類のえさ場となり、水を張ることで「ねぐら」  
や水飲み場などの休息の場として、生物多様性の保全に貢献  
しています。

「ふゆみずたんぼ」で  
作られた、その名も  
「ふゆみずたんぼ米」！



水田に集まるガンカモ類



# 3 化女沼 湿地の大切さを後世に伝える



マガンなど3万羽のガンカモ類が飛来し、ハスなどの水生植物  
が生育しています。隣接する自由広場には、湿地や草地、林地  
などの里山環境が整備され、教育の場として利用されています。

# 4 志津川湾 東北で唯一の海域の登録湿地

アマモを食べるコクガン



海藻やアマモなどの海草が生い茂る海の森  
や草原が広がり、冬には国の天然記念物であ  
るコクガンの姿が見られます。湾内に豊富に育成  
する海藻・海草は、近年、ブルーカーボン<sup>®</sup>を増や  
す要素としても注目されています。

※海の植物が二酸化炭素を吸収し、その後、海底や深海に  
長期間貯蓄される炭素のこと



豊かな海の森に集まる魚たち



秋・冬



マガンの飛び立ち  
(伊豆沼・内沼)

「ラムサール条約」とは、水鳥をは  
じめとする多様な生き物の生息地であ  
る「湿地」を守るための国際的な条  
約です。

県内には、伊豆沼・内沼(登米市・  
栗原市)、蕪栗沼・周辺水田(大崎市・  
登米市・栗原市)、化女沼(大崎市)・  
志津川湾(南三陸町)の4つのラム  
サール条約登録湿地があり、これらが  
近接する地域は、全国的にも貴重な自  
然環境として注目されています。

登録湿地では、マガンの飛び立ちな  
どの豊かな自然景観を楽しめるだけ  
でなく、生き物を守り育てる取り組み  
や、自然と調和した持続可能な利用  
(ワイズユース)を目指す取り組みが  
行われています。

問 自然保護課 ☎022(211)2672

伊豆沼・内沼  
登録**40**周年  
蕪栗沼・周辺水田  
登録**20**周年  
**記念企画も！**

各湿地の拠点施設での  
イベント情報はこちら



今年は、県内4つの登録湿地のう  
ち、伊豆沼・内沼が「登録40周年」、蕪  
栗沼・周辺水田が「登録20周年」とい  
う節目の年を迎えます。この機会に、  
世界に誇る宮城のラムサール条約登  
録湿地の自然に、ぜひ触れてみてくだ  
さい。